染織（撚糸・精錬・製織・染色）

藍【あい】 植物染料。アイ色素を水溶性にして染色できる状態にすることをアイを建てるといい、還元菌を用いる発酵建てと化学薬品を用いる化学建てがある。

《英》indigo《中》蓝《仏》indigo m《伊》indigofera f giapponese

青味付け【あおみづけ】 織物や糸は漂泊しても僅かに黄味が残ることが多い。これを一層白く見せる目的で、青～緑色色素を布に付着させる。

《英》blueing《仏》bleutage m《伊》white dyeing (eng.)

茜【あかね】 アカネ科の多年草の根から採れる天然染料で、その種類によってアリザリン（西洋茜）、プルプリン（日本茜、インド茜）など含まれる主な色素が異なる。現在、西洋茜が主に用いられている。茜色は、夕暮れ時の空の色の形容で用いられる。

《英》madder《中》茜草根《仏》garance f《伊》colore rosa f di aurora

灰汁【あく・あくじゅう】 藁や木材を燃やして作った灰を水や湯に溶かしてできたその上澄み液で、アルカリ性を示す。灰汁は用途によって様々な作り方があり、精練剤、洗剤及び媒染剤として使用されている。

《英》vegetable alkali preparation《中》灰水《仏》liquide m de cendres de plante《伊》liscivia f

汗堅牢度【あせけんろうど】 人体から生じる汗に対する染色物の変退色や汚染の度合いを1～5級で表す。試験方法は JIS L 0848を参照。

《英》color fastness to perspiration《中》汗渍坚牢度《仏》solidité f à la perspiration《伊》grado m di registente contro al sudore

アゾ染料【あぞせんりょう】 発色団としてアゾ基（- N = N -）を有する染料。色々な色相の染料を比較的容易に合成できる。染料分子中のアゾ基の数によりモノアゾ（1個）、ジアゾ（2個）及びポリアゾ（3個以上）染料などと呼ばれる。

《英》azo dye《中》偶氮染料《仏》colorant m azoïque《伊》sostanza f colorante

後処理剤【あとしょりざい】 後処理とは、ある工程ののち施す処理をいい、それに使う薬剤をいう。例えば、染色物の水堅牢度増進のためのフィックス剤等。

《英》after treatment

後練・後染織物【あとねり・あとぞめおりもの】 生糸で製織し、布の状態で精練することを後練りといい、織物の状態で染める”反染め”することを後染めという。

→先練、先染織物

《英》gray silk piece boiling・piece dyeing《中》练绸、染绸

《仏》tissu m dèganmage enpiece《伊》tessuto m tinto in pezza

アニオン界面活性剤【あにおんかいめんかっせいざい】陰イオン界面活性剤。水中でイオン解離して界面活性の有効部分がアニオンである活性剤をいう。硬水、酸、アルカリに対して安定で、冷水に溶けやすく、その溶液は中性である。洗浄、浸透、乳化、分散などの作用が大きい。

《英》anionic surface active agent《中》阴离子表面话性剂

《仏》agent m tensioactif anionique《伊》tensionattivo anione tenqione superficiale

甘より(撚)糸【あまよりいと】はっきりした区別はないが、強撚、中撚、弱撚などに分けられる。弱撚の内でも比較的撚数の少ない撚数をいう。

《英》soft twist yarn《仏》fil m detorsion deuće《伊》fili m leggrmente intracciati

編物【あみもの】糸のループを平面に連ねた布。メリヤス→織物。

《英》knitting fabric (cloth)《中》编织品《仏》tricotage m《伊》lavoro m a maglia

綾織り(斜文)【あやおり】斜文組織。織目が斜めになる織物組織。平組織・朱子組織と並ぶ三原組織の一つ。一般に右上がりの織り目を表とする。

《英》twill《仏》sergé m《伊》saia, saglia f

あや(綾)ちりめん【あやちりめん】斜文織のクレープ。

《英》twill crepe《中》斜纹绉绸《仏》crêpe f sergé

《伊》tessuto m di crespo a diagonale

綾羽二重【あやはぶたえ】斜文織の羽二重。

《英》twill habutae《中》斜纹纺绸《仏》habutaé sergé《伊》crespo habutae

綾(あや)乱れ【あやみだれ】①綛のあや乱れによる糸層の混乱。②織物組織の一部混乱。

《英》disturbed traverse《中》凌乱、纹错乱

洗いしわ【あらいしわ】織物の精練又は洗浄時にできるしわのことで、小じわは織物組織に原因があり、大きなしわは外圧に原因がある。

《英》washer wrinkle《中》洗净皱折《仏》pli m par lavage

《伊》crespa f causata durante di sgommatura o lavaggio tessuto

洗いむら【あらいむら】原糸に使用されている油の種類、洗剤の選択又は使用量の不適などによって生じる。先染物は、色相変化がみられることがあり、後染物では染めむらの原因となる。

《英》washer mark《中》洗净不匀《仏》inégalité f par lavage

《伊》irregolatita' della tintura

アルカリ精練【あるかりせいれん】 絹練りの一種で、アルカリ性薬剤によって行う精練方法。精練剤としてはセッケン、炭酸ソーダ、ケイ酸ソーダなどを用いる。

《英》alkali degumming《中》碱水精练《仏》dégommage m à l'alcalin

《伊》sgommamento m da alcalimita

泡練り【あわねり】 絹の精練方法の一種で、濃厚なセッケン溶液を加熱して泡を立て、この中に絹を吊るし、精練液に浸すことなく泡で精練する。光沢、触感がよく、精練時間が短いが、セッケンの使用量が多い。

《英》froth degumming《中》泡沫脱浆《仏》dégommage m en mousse

《伊》un metodo di sgommatura

アントラキノン染料【あんとらきのんせんりょう】 アントラキノン骨格とそれに関連した多環式キノン構造を持つ染料をいう。一般に鮮麗な色調と優れた日光堅牢度を持つ。また、比較的簡単な構造で深い色調の染料が得られる。

《英》anthraquinone dye《中》蒽醌染料《仏》colorant m anthraquinonique

《伊》anthraquinone dye(eng.)

イージーケア加工【いーじーけあかこう】 取扱い易い衣料の意味で、主として洗濯後乾きが速く、アイロンを掛ける必要がないという特性を付与する加工。

《英》easy care finish《中》免汤处理《仏》finissage m d'entretien facile

《伊》trattamento m di "easy-care"

意匠紙【いしょうし】 織物組織を描くための方眼紙。紋織物など文様を実感に近く表すため、たて糸とよこ糸の織密度に比例した方眼紙もある。

《英》design paper for textile《中》方格绘图纸《仏》papier m quadrillé

《伊》carta f quadrettata per costruzione tessuto

異色染め【いしょくぞめ】 混紡織物を二色以上に染めること。

《英》multi-color dyeing

移染性【いせんせい】 染料や化学加工剤などが繊維の内部のある部分から表面へ移動する現象を移染といい、その性質を移染性という。　→マイグレーション。

《英》migration《中》移染性《仏》propriété f des migrations

《伊》trasferimento m di sostanza tinto

イタリア式ねん（撚）糸機【いたりあしきねんしき】 フィラメント糸用のアップツイスターの一種。洋式ねん糸機として古くから用いられてきた。生糸、合繊糸等の細糸の片より・諸（もろ）より・強ねん用として広く使われている。錘（糸巻きの心棒）が垂直に立っている。

《英》italian throwing machine

《中》意大利式捻丝机《仏》moulinage m italien, metier m a tordro systeme italien

《伊》torcitoio m sistema italiano

一浴染法【いちよくせんぽう】 染色そのほかの処理を一つの浴で完成する方法。

《英》one bath method of dyeing《中》一浴染方法《仏》méthode f de teinture à un bain

《伊》one-bath-dyeing (eng.)

糸織【いとおり】 布 (木綿、麻) に対する絹糸織の略称。

《英》silk fabric《中》捻丝织物《仏》tissu m de soie, soierie f

《伊》tessuto m fatto da seta

糸切れ【いときれ】 染織作業中に糸が切断すること。糸故障ともいう。

《英》end of thread, broken thread on produciting《仏》fil m manquant

《伊》rottura f del filo seta

糸綜絖【いとそうこう】 木棉糸製の綜絖。高機用と地機用がある。→かけ糸、半綜絖。

《英》heald twine for craft《仏》maille f

糸染め【いとぞめ】 製織後、反染めする場合の後染めに対して、糸の状態で染色することをいう。

《英》yarn dyeing《中》沙染、先染《仏》teinture en fils《伊》filo m tinto

糸つなぎ【いとつなぎ】 染織作業中に切断した糸を結び繋ぐ、あるいは撚りつなぐ作業。

《英》tying《中》接头，打结《仏》attachement m, nouage m《伊》legatura f

糸練り【いとねり】 織物などの精練に対して、糸で精練すること。

《英》yarn degumming《中》生丝煮练《仏》décreusage de la soie

《伊》sgommatura di seta

糸の太さ【いとのふとさ】 糸の太さは通常恒長法〔長繊維の場合）及び恒重法〔短繊維の場合）で表示する。前者はデニール（450m で0.05g の重さ) 等、後者では番手〔綿番手麻番手、メートル番手）等がある。

《英》thickness of the thread, size of filament《中》纤度《仏》grosseur du fil

《伊》grossezza f del filo(=denaro)

色味じ【いろあじ】 微妙な色の濃淡やずれの具合。色合い。色加減。

《英》color《中》颜色《仏》nuance f de couleur《伊》trasferimento m del tinto

色合わせ【いろあわせ】 染色の際、被染物を目的の色見本に合せて染色することをいう。

《英》color matching《中》色泽《仏》correspondance f de couleur
《伊》addatmento m del colore

色移り【いろうつり】 染色物の染料が移染し、他の製品を汚染すること。染料の染着や堅牢度が弱い場合、染色後のソーピングが不十分な場合などに起こる。
《英》color staining《仏》coloration f de couleur《伊》trasferimento m del colore

色止め【いろどめ】 洗濯などにより染色物の泣出しを防止するために行う後処理法をいう。
《英》color fixing《仏》fixation f de couleur《伊》decolorzaizione f

色直し【いろなおし】 →上掛け
《英》shading《仏》nuançage m《伊》after treatment of dyeing (after dyeing) (eng.)

色泣き【いろなき】 捺染の際、染料濃度が極端に高いとき、助剤、糊剤の水分、スチーマー内の水分が多い場合に捺染部分の輪郭がぼやけることをいう。
《英》bleeding《中》色渗斑、色化斑《仏》saignement m《伊》migration of dye (eng.)

色抜き【いろぬき】 染色物の色を抜き取ること。
《英》stripping《仏》décoloration f《伊》decolorzazione f , migration of dye

色やけ【いろやけ】 日光や蛍光灯によって生じた染色物の変退色。
《英》fading《仏》décoloration f《伊》scoloramento m

陰イオン活性剤【いんいおんかっせいざい】 →アニオン活性剤
《英》anion surface active agent《中》阴离子表面活性剤

インジゴ【いんじご】 藍の主成分。建染染料の一種。アルカリ性ハイドロサルファイトで還元するとロイコ化合物（インジゴホワイト）をつくって溶解し（黄色)、この溶液に染色物を浸したのち、空気酸化すると元のインジゴに戻り染着する。
《英》indigo《中》靛蓝《仏》indigo m《伊》indaco m naturale

ウインス染色機【ういんすせんしょくき】 反染め機。織物をロープ状のまま繰り返し枠に掛けてその両端を縫い合わせ染槽の中を、繰り返し回転させながら染める浸染機。
《英》wince dyeing machine《中》wince 染色机《仏》machine f de teinture wince
《伊》macchina f di tntura da wine dye back

ウォータージェット・ルーム【うぉーたーじぇっと・るーむ】 無ひ織機の一つ。織物のたて糸によこ糸を挿入する手段として水のジェット噴流によこ糸を乗せてよこ入れをする織機。製織織物は疏水性繊維織物のみである。→エアジェット・ルーム。
《英》weaving machine by water-jet method water-jet loom《中》喷水织机

《仏》métier f à jet d'eau《伊》macchina f tessitura a getto d' acqua

ウオッシュアンドウエアー性【うおっしゅあんどうえあせい】 洗濯後の乾燥が早く、しわもできないので、手軽に着用できる。被服衛生面からは課題もある。

《英》wash and wear《中》服用性

畝織物【うねおりもの】 表面に、たて、あるいはよこ方向の畝を織出した織物。azeともいう。たて方向の畝を (cord) といい、よこ方向をリブ (rib 又は cross cord) という。

《英》rib and cord fabrics《中》重平组织绸《仏》tissu m côtelé

《伊》weft rib weave (eng.)

上掛け【うわかけ】 ①色直しともいい、濃色染めなどにおいて一度染めたものをさらに他の染料で染色して、色を合せること。②他部属の染料で鮮明色にし、堅牢度を高くするために染色することをいう。

《英》topping

エアジェット・ルーム【えあじぇっとるーむ】 無ひ織機の一つ。織物のたて糸によこ糸を挿入する手段として、空気の細流を噴射させ、よこ入れをする織機。空気を使うので製織対象織物には汎用性がある。→ウォータージェット・ルーム

《英》air-jet loom,《中》喷气织机《仏》métier m ā jet d'air

《伊》macchina f tessitura dal getto di aria

絵絹【えぎぬ】 日本画の画布。太さのほぼ等しい生糸をたて・よこ糸に使った精練しない平織り絹布。

《英》EGINU、raw-silk fabric for Japanese-picture

《中》画绢《仏》toile f de soie pour la peinture japonaise

《伊》tela f di seta per pittura giapponese

液流染色機【えきりゅうせんしょくき】 布染め機の一種。染液をジェット噴射することを特徴とする染色機。

《英》jet dyeing machine《中》喷液流染色机《仏》machine f de teinture à jet

《伊》jet dyeing machine (eng.)

S 撚り【えすより】 S 字状になる撚りで右撚りのことをいう。英語では右撚りを left hand twist 、左撚り（Z より）を right hand twist と呼ぶので、S 撚り又は Z 撚りと呼ぶ方が安全である。

《英》S twist (ant. Z twist)《中》S 捻，順手捻《仏》torsion f de S

《伊》torsione di S (ant. torsione Z)、(torsione S: left-hand, Z right- hand)

絵緯【えぬき】 文様を織り出すためのよこ糸（色糸）。

《英》dying-weft for figure textile

塩縮加工【えんしゅくかこう】 主に絹又は他の繊維との混紡、交織品などに適用される加工法で、中性塩類を用いて絹繊維部分を収縮させ、縮み模様とか弾性的伸縮効果を生じさせる。

《英》salt shrinking treatment《中》氨缩处理《仏》finition f de contraction par sel

《伊》Saolt Shrinking Finish (eng.)

塩素漂白【えんそひょうはく】 塩素又はその化合物を使って繊維などを漂白すること。

《英》chlorine bleaching

オイリング【おいりんぐ】 一般には、撚糸工程、紡績工程で繊維の取扱いを容易にするため、油剤を与えること。

《英》oiling《中》上油，注油，加油《仏》graissage m,huilage m《伊》oiling (eng.)

黄変【おうへん】 繊維製品が日光、薬品などの作用により黄色味を帯びる変化をいう。褐変（browning）と同義。

《英》yellowing《中》泛黄《仏》jaunissement m《伊》cambiamento m di colore

オーガンジー【おーがんじー】 生糸のまま染色・製織した織物。→生絹。

《英》organdy《中》奥甘迪、透明沙《仏》organdi m 《伊》organdi

大島つむぎ【おおしまつむぎ】 奄美大島、鹿児島市近郊を産地とするつむぎ織物。模造品に対して本場大島絹、本場大島袖ともいう。

《英》OOSIMATUMUGI, Japanese traditonal silk-fabric《中》大岛线绨绸

《仏》“Tsumugi” produit à l'ile de Amami Oshima《伊》Oshima Tugumi

送り出し（経糸）【おくりだし】 製織が進むにしたがって、たて糸を補給する力織機の装置。

《英》let-off(of warp yarns)《中》送经纱机（运经纱机）

《仏》laissez-off (de fils de chaîne)《伊》svvolgimento(dei orditi) m

おさ（筬）【おさ】 櫛歯状の機織道具。①たて糸を等間隔に配列するたて巻き用、②よこ糸を織口に打寄せる機織り用がある。

《英》reed《中》筘《仏》peigne m《伊》pettine m

おさ（筬）打ち【おさうち】 機織り作業において、よこ糸を織り口に打ちつける動作。地機の筬打ちは、たて糸の配列を正す役割が大きく、よこ打ちは、織物幅よりも長い刀杼が主に担う。→杼（ひ）。

《英》beating《中》打纬《仏》battant m, tassement m《伊》battuta f

おさ(筬)筋【おさすじ】たて糸を筬目に数本通すと、それらのたて糸は目に集められて筬筋となる。この筋が不均一ならば織物欠点になる。筬目不良やたて糸張力の不均一が原因である。

《英》reed mark《中》筘痕，筘路《仏》rayure f de peigne

《伊》segno m di pettine (trama f inserita)

おさ(筬)通【おさとおし】筬目にたて糸を通す作業。2本/羽(目)を丸羽、1本/羽(目)を片羽という。織物種類によって、4本/羽(目)、8本/羽(目)も通す。

《英》denting《仏》piquage m en peigne《伊》reed drawing-in

おさ(筬)通し幅【おさとおしはば】たて糸を通す幅(織り幅)。織上げ幅は、よこ糸が織縮むので、筬通し幅より2〜3%狭くなる。

《英》reed width of weaving《仏》largeur f du piquage en peigne

《伊》altezza f utile del pettine

おさ(筬)幅【おさはば】①両端の補強用親羽を含めた全体の幅。②力織機の大きさを表す場合は、装着可能な筬の幅をいう。

《英》reed space《中》织品门幅面《仏》largeur f de peigne《伊》altezza m di pettine

おさ(筬)密度【おさみつど】単位長さ当りの羽（目）数。センチ、インチが多い。着尺の場合、ヨミ（算）・わ（把）も使う。古来、竹筬の制作過程で、筬羽（は）40枚を１把（わ）と称し、着尺幅（クジラ1尺、約37.8cm）に必要な筬羽の束数で表わした。

《英》number of dent per unit length(cm)《中》筘密度

《仏》nombre des dents m par unité de longueur《伊》numero denti per 1cm

汚染【おせん】染色物を湿潤処理した場合、染色物の染料が他に移染すること。二種以上の繊維が混在するとき、一方の繊維を染色するのに用いた染料が、他の繊維に吸着し、着色すること。

《英》staining《中》污染《仏》maculation f, coloration f

《伊》inquinato da sostanza colorante

オパール加工【おぱーるかこう】抜色捺染法の一種で、絹、ナイロンなどと綿やレーヨンなどの植物性繊維との交織織物を硫酸、硫酸アルミなどの酸化剤を混和し熱処理すると植物性繊維だけが炭化し、それを除去して模様を顕出させる方法。

《英》opal finishing《中》烂花处理、乳白处理《仏》finissage m d'opale

《伊》opal finish (eng.)

お召し【おめし】先練り強撚糸織物。たて糸は42〜63デニール、約500T／mの普通諸撚り練絹糸。よこ糸は約100デニールの糊つけ強撚糸。織り上げ後、湯通し作業で、

糊を除くと共に揉んでシボ（皺）を立てる。主に着尺。

《英》degummed silk crepe

《中》熟丝绉绸《仏》tissu m de crêpe pour Kimono teint en fils

《伊》Omeshi (Omeshi chirimenn=drgummed silk crepe)

お召しよこ【おめしよこ】生糸約100デニール、SとZそれぞれ下撚り糸（200T／m）を精練・染色・でんぷん糊付けして乾燥後、水を振りかけつつ、約2,500T／mを追撚する。のち乾燥して撚を止め、S・Z２本ずつ交互に織る。→お召し、八丁撚糸。

《英》OMESI-YOKO,hard-twist yarn for degummed figure-textile

重目（織布）【おもめ】→目付け

《英》heavy weight (cloth)《中》重磅

織り方図【おりかたず】織物組織図に加えて綜絖・筬の引っ込み方、ドビー機のペグの植え方を記入した指示図。

《英》lifting plan、designation for weavers《仏》montage m

《伊》disegno m di costruzione del tessuto

織り段【おりだん】よこ糸方向の段。織物欠点の一つ。糸の荷口ちがい、たて糸張力むら、織口合わせ不良など。糸質的、機械的、技能的な原因がある。

《英》weaving bar, weft bar, fillimg bar《中》纬档（织疵）

織り縮み率【おりちぢみりつ】織物のたて・よこ糸は、織り込まれると互いに屈曲するので縮む。織る以前の長さLに対する、織った後の長さの比率。

織り縮み率 $= \frac{L - L''}{L} \times 100\%$

《英》crimp percentage

《中》织縮率《仏》pourcentage m d'embuvage sertissage de pourcentage

《伊》percentuale f di ristrngimento

織り付け【おりつけ】たて糸を、綜絖と筬に通して織機にのせ、織りつけ布に接結して綜絖と踏木など開口装置を連結し、織る準備を完了する作業。

《英》looming

《中》试车、开车《仏》gaiting (Opération expérimentale au début de la toile tissée)

《伊》preparazione f (mettersi subbi in posizione)

織り幅【おりはば】→筬通し幅

《英》reed space《中》织品门幅面

織物【おりもの】たて糸とよこ糸を直角に組み合わせてつくる布。→編物。

《英》fabric (texture)《中》织物《仏》tissu m《伊》tessuto m

織物原糸【おりものげんし】 絹織物の原糸には、①繰糸した生糸を２本以上合糸・撚糸した絹糸。②真綿を細く引き延ばして、糊で固めたつむぎ糸。③短繊維を紡績した絹紡績糸がある。

《英》yarn《中》织物原丝

織物繊維【おりものせんい】 織物用糸の原料、植物繊維：木綿・麻類など。動物繊維：絹、羊毛など。鉱物繊維：ガラス、スティールなど。人造繊維：ナイロン、テトロンなど。

《英》fibre for yarn,silk,wool,cotton and the other《仏》fibre f《伊》fibra f per twssuto

織物組織【おりものそしき】 織物のたて・よこ糸の交錯（interlace）状態。たて糸がよこ糸の上に出るのをたて糸が浮く（raise)、たて糸がよこ糸の下に入るのを沈む(sink) という。織物組織を方眼紙に描くと織物組織図になる。

《英》textile design《中》织物组织《仏》armure f《伊》costruzione f del tessuto

織物分解鏡【おりものぶんかいきょう】 織物表面の観察や糸密度測定用の5倍率程度の拡大鏡。１辺が1～2cm の窓を備える。窓の１辺が2.5分クジラ尺（0.95cm）の分解鏡は、視野の筬筋数が使用筬のヨミ数と一致する。

《英》counting or piece glass

甲斐絹【かいき】 KAIKI、(海気、改機) 濡れ巻のたて糸を織りながら、織り前で文様を描く。紅梅甲絹、絵甲絹、綾甲絹など。→濡れ緯。

《英》Japanese printed Taffeta (Anciently)

開口【かいこう】 綜絖を上下して、よこ糸を通す道をつくる運動。

《英》shedding , shed《中》开口

開口装置【かいこうそうち】 高機の場合、綜絖の上下運動方式にロクロ、唐臼、弓棚、仕掛けがあって、中口、上口、下口、など、織物組織に対応する特徴がある。力織機も同様である。→高機、力織機

《英》shedding motion《中》开口装置《伊》dispositura f di apertura della bocca di telai

快適性【かいてきせい】 衣服を着用して日常的な動きをした場合に着心地がよいことを表す。衣服の快適性は衣服内気候（肌と衣服との間の微小空間の温度・湿度）と衣服圧（衣服による皮膚の圧迫）と肌触り（衣服と皮膚との接触感）によって評価される。

《英》comfort《中》舒适《仏》confort m《伊》comodita f

界面活性剤【かいめんかっせいざい】 液体に溶解しその界面に吸着され、界面張力を著しく減少させ、湿潤、洗浄、乳化、可溶化、分散などの性質を示す物質。アニオン－、カチオン－、両性－及び非イオン活性剤などがある。

《英》surface-active agent, surfactant《中》表面活性剂《仏》agente m tensioactivite
《伊》agente m tensionattivo

かけ糸（糸綜絖）【かけいと】 半綜絖。腰機（こしばた）＝地機では、たて糸１本おきに約10番手縫糸太さの半綜絖を自ら螺旋状に掛けるので「かけ糸（そ）」。これを仕掛ける作業は、さながらあや取りなので「あや掛け」などという。

《英》heald made with threads《中》综片、综丝、综线《仏》maille f《伊》thread guard

重ね織り【かさねおり】 たて・よこ糸いずれか一方、あるいは両方に２種以上の織糸を用いた二重織物。→風通織。

《英》combination weave《仏》double-étoffe《伊》double weight cloth

綛【かせ】 小枠から大枠に巻き返したものをくち留し、あみそ掛をして枠から取り外した生糸。

《英》skein《中》丝片、丝绞《仏》écheveau m , flotte f de soie, matteau de soie
《伊》matassa f di seta, flotta di seta

過精練【かせいれん】 セリシンを除去するだけではなく、フィブロインまで損傷を与えるような過度の精練。フィブロインの脆化、黄褐変だけではなく、糸荒れ、布のすれなどを伴う。

《英》over degumming《中》过度煮练《仏》trop de décreusage m
《伊》over-degumming (eng.)

綛 (かせ) 染め【かせそめ】 糸を染色する方法で、綛糸の状態で染色すること。綛糸を染色管に掛け、管の上部にある穴から染液を噴射させながら染色を行う噴射式綛染め機がある。

《英》skein dyeing《中》丝绞染色《仏》teinture en écheveaux《伊》tintura f matassa

型紙【かたがみ】 型地紙に文様を彫り抜いて捺染型としたもの。型地紙は美濃紙を重ね合わせて柿渋を塗って乾燥したもので、湿潤して適度な柔軟性と強靭さを備え、保存中の腐敗やカビの発生などがない。

《英》paper stencil《中》漏花纸板《仏》pochoir m de papier
《伊》carta f di modello per la stampa di tessuto

型紙捺染【かたがみなせん】 型紙を用いて行う捺染。型紙捺染は、型紙数（色数）の制限を受けず製品価値の高い染色物が得られるが、熟練を必要とする。

《英》paper stenciling《中》漏花纸板印花《仏》impression au pochoir de papier
《伊》stampa di tessuto usndo la carta di modello

片より（糸）【かたより】 S 又は Z いずれかの撚り糸。

《英》one-side twist《中》单捻（纱）《仏》fil m simple torsion《伊》single twist yarn

カチオン界面活性剤【カチオンかいめんかっせいざい】陽イオン界面活性剤。一般に中性または酸性溶液中に溶けやすく、泡立ち、浸透、乳化作用が大きいが、アルカリに不安定。繊維の染着性を向上させるため、カチオン化する手段がある。

《英》cation surface active agent

壁糸【かべいと】S・Zの撚り方向と、太糸・細糸の組合せによって、ら線状の凹凸をもたせた織物用糸。よこ糸に織ると壁織になる。土壁の縄を巻き付けた芯竹になぞらえた。

《中》碧绉线、螺旋花线《仏》fils m de Kabe, fils inégalités《伊》corkscrew thread

カラーインデックス【からーいんでっくす】市販染料の索引。C.I.name と C.I. No. とで整理され、染料の化学構造、製法、性質などがすぐに判るようになっている。

《英》color index《中》颜色索引《仏》catalogue m des couleurs

《伊》indici m di canpioni tinta

軽目（織物）【かるめ】→目付け

《英》light weight(cloth)《中》轻磅

還元抜染【かんげんばっせん】ロンガリットやハイドロサルファイトなどの還元剤を用いて、染色した染料を取除く。

《英》reduction discharge printing《中》还原拨染印花

機械捺染【きかいなせん】手捺染に対して機械を用いた捺染をいう。スクリーン捺染やローラー捺染などがその代表。

《英》machine printing《中》机械式印花《仏》impression f mécanique《伊》stampa f

生絹【きぎぬ】①精練しないままの製品となる絵絹やオーガンジーなど、②羽二重よりも粗な絹織物、裏地。→絵絹、生機。

《英》raw-silk fabric《中》生绸

着尺【きじゃく】着物用の織物。普通幅36cm（鯨9寸5分）内外。長さ11.5～12m（鯨30尺）内外を1反とし、着物1枚分になる。

《英》kijaku fabric (0.36m*12m)《中》和服衣料（一件）

《仏》tissu m pour Kimono (0.36m ×12m)《伊》tessuto m kijaku (0.36m ×12m)

絹【きぬ】蚕によってつくられた繊維及び製品の総称。繭糸、生糸、玉糸、副蚕糸、より糸、練糸、絹紡糸、真綿及びこれらからつくられる織物、編物などのすべてを含む。

《英》silk《中》丝，真丝《仏》soie f《伊》seta f

絹織り【きぬおり】絹織物。又は絹織物をつくる機織り作業。

《英》silk weaving《中》成丝织物

絹織物【きぬおりもの】主として絹糸を使用した織物。生糸、玉糸等の絹製糸、絹紡糸、絹紡紬糸、つむぎ糸及び野蚕糸などを原料としたものをいう。

《英》silk fabric《中》丝织物

絹繊維【きぬせんい】①絹糸を構成する繊維。②繭糸。

《英》silk fibre《中》丝纤维《仏》fibre f de soie《伊》fibra f di seta

絹蛋白質【きぬたんぱくしつ】絹を構成している蛋白質。アミノ酸組成や性質の異なるセリシンとフィブロインにわけられる。いずれも硬蛋白質で純度が高い。

《英》silk protein《中》丝蛋白质《仏》protéine f de soie《伊》proteina f di seta

絹鳴り【きぬなり】精練した絹糸，絹織物が互いに摩擦したときに発する独得な音。酸処理すると顕著になる。

《英》scroop《中》丝鸣《伊》scroop

生目返し【きめがえし】生糸は精練すると重量が約２５％軽くなるので、のり付などで元の重量まで戻し増量すること。

《英》pari-weighting

キュアリング【きゅありんぐ】ベーキングともいい、織物の樹脂加工の際、高温で樹脂を反応硬化させる工程。

《英》curing, baking

強撚糸【きょうねんし】衣料用織物糸に2000回／m以上の撚りを加えた糸。織物にシボ（小さいシワ）を出す糸。→しぼ。

《英》hard twist yarn (high twist yarn)《中》強捻沙，紧捻沙《仏》fil m de torsion forte《伊》filo m ritorto forte

金属錯塩染料【きんぞくさくえんせんりょう】含金属染料。染色堅牢度の向上と染色報の簡素化を目ざして、酸性染料に Cr^{3+},Co^{2+} などを結合させた染料。

《英》metal complex dyes

金属せっけん【きんぞくせっけん】水中の鉄・カルシウム・マグネシウムなどの金属イオンは、せっけんと結合して、水に不溶性の金属をつくる。これを取除く金属封鎖剤がある。トリポリリン酸やクエン酸など。

《英》metaric soap

管【くだ】よこ糸を巻く木管。普通織機は、これを杼（shuttle）に収納して織込む。絹織機の場合、高機で長さ約6～7cm ×直径0.5～0.7 cm 、力織機で長さ約15cm ×直径1cm。→杼（ひ）

《英》spool《中》纱管《仏》canette f, cannette f《伊》spola f , cannetta f

管替自動織機【くだがえじどうしょっき】力織機の一種で、運転中停止せずによこ糸管を交換して、よこ糸を補給できる。

《英》automatic cop change loom

《中》自动换纾织机《仏》metier m automatique systeme echange bobine

《伊》telaio m automatico sistema scambio bobina(spola)

管巻き【くだまき】管によこ糸を巻く作業。手作業は糸車を応用する。

《英》spooling《中》卷纬《伊》roccatrice f

グラフト加工【ぐらふとかこう】高分子化合物に他の分子団を側枝につける意で、絹の性能の向上が図られる。

《英》graft finishing《中》结合加工

クレープ【くれーぷ】〔別名〕ちりめん、縮緬。強ねん糸を使用して布面にしぼを現した縮み織物のこと。片しぼの縮緬をクレープとよぶことがある。

《英》crepe, crape《中》绉《仏》crêpe f《伊》crespo m

クロム媒染【くろむばいせん】重クロム酸塩で媒染処理を行うこと。優れた媒染法であるが、環境負荷が大きく、発がん性がある。

《英》chrome mordanting《仏》mordançage m au chrome《伊》mordente m dal cromo

K/S 値（ケイバイエス）【けいばいえすち】分光反射率の値は染色物の濃度と比例関係がないので、Kuberlka − Munk の式で濃度に比例するような値に変換した値をいう。K/S 値が大きいほど濃度が高いことを意味する。

《英》K/S value《中》k/s 值《仏》K / S valeur f《伊》K / S value

毛羽立ち【けばだち】織物表面を包む短繊維を毛羽といい、その毛羽が起毛した状態をいう。

《英》nap raising becoming Fluffy

絹糸【けんし】①繭を原料とする糸の総称 (織糸・編糸・縫糸などを含む)。②生糸と区別するため、あえて精練後を指す場合もある。

《英》silk thread《中》绢丝《仏》fil m de soie《伊》filo m di seta

繭糸繊度【けんしせんど】繭糸の太さ。平均繭糸繊度をデニール単位で示す。生糸糸長、生糸量、定粒又は定繊度繰糸中の平均粒付数などから算出される。

《英》size of cocoon filament《中》茧丝纤度《仏》titro de la bave

《伊》titolo m della bava

絹糸紡績（糸）【けんしぼうせき】副蚕糸などを原料とする紡績（糸）で、略し

て絹紡（糸）ともいう。

《英》spun silk yarn《中》绢丝《仏》schappe m《伊》filato m di cascami di seta

顕色【けんしょく】 ナフトール染料などの不溶性アゾ染料の染色で下漬剤と化学結合して染料を生成させるために使用する薬剤を顕色剤といい、その工程をいう。

《英》developing《仏》développement m de couleur

絹紡紬糸【けんぼうちゅうし】 ブーレットを原料として紡績した糸。絹紡糸の製造工程でできる屑（ブーレット）を紬糸紡績機で紡績したもの。

《英》noil silk yarn《中》紬丝《仏》bourette f

堅牢度【けんろうど】 →染色堅牢度

《英》fastness

高圧練り【こうあつねり】 100℃以上の高温高圧状態で絹を精練する方法。セッケンやアルカリなどの精練剤を用いず、水だけで精練が可能であるが、高温で処理するので絹繊維の強度や白度の低下や黄変を招くことがある。

《英》high pressure degumming《中》高压精练《仏》dégommage m à haute pression

《伊》sgommatura f seta all'altapreaaione

合糸【ごうし】 細繊度の糸を２本・３本と合わせて、必要な太さの糸にする作業。

《英》yarn doubling《中》合丝，并丝《仏》doublage f《伊》binatura f

合糸機【ごうしき】 合糸する機械。合糸しつつ撚糸する合撚糸機もある。

《英》doubler《中》合丝机，并丝机

合成染料【ごうせいせんりょう】 化学合成による人工染料で、均質で染め易く、安価。現在は、特殊な工芸品を除いて、すべて合成染料が使われている。

《英》synthetic dyes

酵素練り【こうそねり】 タンパク質分解酵素を応用した絹の精練方法。パパイン、トリプシンなど。

《英》enzyme degumming

光沢【こうたく】 表面の輝きで、正反射と乱反射があって、その強さの比や凹凸が影響する。

《英》lustre,gloss《中》光泽

合撚【ごうねん】 細い糸を合せ撚って織糸にするが、合せる作業と撚る作業を一体としてすすめる作業。機械を合撚機という。

《英》doubling and twisting《中》并捻《仏》doublage f et moulinage f

《伊》binatura e ritorcitura f

合撚機【ごうねんき】 細い糸を合せ撚って織糸にするが、合わせる作業と撚る作業を一体として進める作業を行う機械。

《英》doubling and twisting machine《中》并捻机

彩度【さいど】 色の三属性の一つで、色の鮮やかさの度合いを表す。鮮やかな色ほど彩度が高い。

《英》saturation《中》彩度《仏》saturation f

竿練【さおねり】 生糸のカセ（綛）に竿又は棒を通して、精練槽の中へ吊るして精練する方法。

《英》one degumming methode,hangig methode

《中》竿练《仏》dégommage m suspendant les échveaux aux baguettes

《伊》degumming hanged on banboo-rod (eng.)

先練・先染め織物【さきねりさきぞめおりもの】 織物にする前に糸で精練することを先練り、織物を織る前に糸を染色することを先染めという。タフタ、ブロケード、お召などがその典型。

《英》yarn dyed･degummed silk fabric《中》熟练・染丝织物《仏》teint en fils

《伊》degumming hanged on banboo-rod (eng.)

さし【さし】 ①生糸整理欠点の一つで、色相、光沢及び手触りの不揃いな綛が括内に混入しているもの。②織物の経糸方向に生じる筋や縞状の欠点。たて筋、たて縞。

《英》① dissimilar skein ② (warp) streak《中》①差丝、②经柳

《伊》sashi (sashi in giapponee = un tipo di difetti di booking)

さし色【さしいろ】 模様染め、特に描染めの場合に模様の一部に色をさして彩色したときの色をいう。さし色は模様の輪郭などに防染ノリを置き乾燥して筆やハケで彩色を行う。

《英》effect color of printing《伊》effettio m coloramento della stampa

蚕糸業【さんしぎょう】 通常は蚕種製造業、養蚕業、製糸業の三業を包括する用語。

《英》sericultural industry《中》蚕丝业《仏》industries f des sericulture

《伊》industria f sericoltura

酸性基【さんせいき】 -COOH、-SO_3H のような酸となるために必要な結合基。

《英》acidic group《中》酸性结合基

酸性染料【さんせいせんりょう】 羊毛、絹、ナイロンなどに酸性染浴から染まる性質を持った染料。染料中にスルホン酸基やカルボキシル基がある。木綿やレーヨンなどのセルロース繊維には染着しない。

《英》acid dyes《中》酸性染料《仏》colorant m acide《伊》sostanza f colorante acido

酸性媒染染料【さんせいばいせんせんりょう】

《中》酸性媒染染料《仏》colorant m de mordant acide《伊》acid mordant dyes (eng.)

酸性ミリング染料【さんせいみりんぐせんりょう】

《仏》colorant m de fraisage acide《伊》acid milling dye (eng.)

酸精練【さんせいれん】酸性薬剤による絹の精練法で、セッケンやアルカリ精練よりも、練減りを制御しやすい。

《英》acid degumming《中》酸性脱胶《仏》dégommage(décreusage) m acide

《伊》sgommatura f di acido

酸通し【さんとおし】漂泊､染色などの前後に希薄酸液に浸漬処理すること。酸払い、酸振り、酸切り。

《英》acid scouring《仏》décapage m acide

《伊》trattamento m per immergere tessuto in acido- nitrico- fluido-diluita

残留セッケン【ざんりゅうせっけん】セッケンが絹繊維に残っていること。セッケンは染料の染着を抑制するので染めむら、表面染着や堅牢度の低下を生じさせる原因になることがある。また、絹の黄変や脆化を招く場合がある。

《英》residual soap《中》剩余肥皂《仏》résidu m de savon《伊》residuo m di sapone

残留セリシン【ざんりゅうせりしん】セリシンが絹繊維に残っていること。セリシンはフィブロインに比べ染料を吸着しやすいため、繊維表面のセリシンの残留状態が染めむらの発生に影響する。

《英》residual sericin《中》剩余丝胶《仏》résidu m de séricine

《伊》residuo m di sericina

仕上げ加工【しあげかこう】繊維製品にある種の機械的又は化学的加工を施して目的の性質に仕上げること。製品のツヤ出しを行うカレンダー掛けや繊維の改質加工などがある。

《英》finishing《中》后整理加工《仏》finissage m, finition f

《伊》trattamento m di finisaggio

仕上げ・整理【しあげせいり】染織製品の最終工程。製造工程中の油剤や糊剤、不時の汚れを除き、精練後の羽二重、シボ寄せ後のちりめんやお召しの「湯のし」、反物検査など。

《英》finishing《中》后整理《仏》finissage m, finition f

《伊》finisaggio m ed ordinamento m

塩瀬【しおぜ】 厚地の羽二重、12目付け（めつけ、52g/㎡）以上30目付け（130g/㎡）まで、多くは太いよこ糸を織るので、よこ糸方向の畝がある。和装の襟や帯に用いる。

《英》SIOZE HABUTAE, heavy(thick) HABUTAE

《中》盐濑电力纺《仏》taffetas m “Shioze-Habutae” à côte trame

《伊》shioze, un tipo di tessuto gipponese

色差【しきさ】 肉眼で識別できる色の差。色相。

《英》color difference

地染め【じぞめ】 →地染め【ぢぞめ】

《英》ground dyeing《仏》teinture f du fond《伊》texture dyeing (eng.)

下染【したぞめ】 コストの低下、調色上、2回以上の染色操作によって染め上げる必要がある場合、最初の染色操作を下染めという。2回目以降の染色は上掛けという。

《英》bottoming《中》打底、底染、预染《仏》teinture f préparatoire

《伊》tintura f preliminare

下漬【したづけ】 下漬け剤よる処理のことをいう。染色の前工程に属し、ナフトール染料染色におけるカップリング成分を適用する工程。

《英》grounding《中》染前浸渍《仏》plongement m préparatoire

《伊》trattamento m di “graound” processo preparativo di tintura

下撚り【したより】 ①諸撚り糸（もろよりいと）の場合：2本以上の細糸を撚合せるが、それぞれに加える撚り。これらを合わせて反対方向の上撚りを加える。②強撚糸の場合：2本以上細糸を100～200回／mの撚りを加えて、糸束の態勢を整え、撚りを追加してつくる。その前段の撚り。いわば基撚り。

《英》first twist, primary twist《中》初捻《仏》première torsion f, torsion f primaire

《伊》torsione f primaria

ジッガー【じっがー】 反染め機の一種。染浴槽の上部に２本のローラーを取り付け。片方から他方へ染浴中を通過させつつ巻き取り、反復する。全反物を浸漬しないので、染浴が少量ですむ。

《英》jigger

自動織機【じどうしょっき】 製織中自動的によこ糸を補充する力織機。杼替え式（shuttle change Loom）と、管替え式（cop change) がある。

《英》automatic loom《中》自动织机《仏》métier m à tisser automatique

《伊》telaio m automatico

自動スクリーン捺染【じどうすくりーんなせん】 機械化したスクリーン捺染。

印捺時に用いるスクリーンによってフラット型とロータリー型に別けられる。フラット型は、平らなスクリーン、ロータリー型は円筒スクリーンを用いる。

《英》automatic screen printing

《中》自动筛网印花机《仏》impression f automatique de l'écran

《伊》macchina automatica f da schermo -stampa

地機【じばた】 東南アジア、メキシコ、トルコなど世界各地で、古代から独自に工夫した手織機。織り手がたて糸を腰に結び、張力をかけて、はじめて織機の機能が完成する。日本では、伝統織物「結城紬」はこの手法を使っている。

《英》back-strap hand loom (anciently)《仏》métier m à ceinture

しぼ【しぼ】 織物表面の小じわ。強撚糸を織込んで作る、ちりめん、クレープなど。→強撚糸、ちりめん。

《英》crimp, wrinkle《中》折皱、皱缩《仏》crêpage m , ride f

《伊》crespa f causata durante di sgommatura o lavaggio tessuto

絞り染め【しぼりぞめ】 模様染めの一法。糸布を部分的に糸でくくるか、適当な器具や方法で染液の侵入を防ぐようにして染める。

《英》tie dyeing《中》扎染《仏》plangi, tritik《伊》tie-dye (eng.)

湿しよこ【しめしよこ】 生糸をそのまま織ると、硬くてたて糸と交錯してもなじまない。あらかじめよこ糸を水に浸漬して管巻き、水分を保ったまま織ると、たて糸にも水分がまわり、たて・よこ糸が柔軟になるので、平滑な織物ができる。→湿し撚り。

《英》wet twistig yarn《仏》trame f mouillée《伊》trama f bagnata

湿し撚り【しめしより】 生糸をそのまま織ると、硬くて糸同士がまとまらないので、あらかじめ、薬剤で柔軟処理をしたり、撚り管に巻いたまま水に浸漬し、水蒸気で蒸したりして加燃、のち乾燥するとより止めとなる。わが国独特の八丁撚糸法。→ちりめん撚り、お召し撚り。

《英》wet twisting《中》湿捻《仏》humidité f《伊》umidita' f

紗織【しゃおり】 正紗織り。透かし目がある織物。交差口は「振るへ」の働きによって、同じ筬目のたて糸２本の１本が、他の1本の左右に移動する。普通綜絖２枚の開放口と、交差口が開いて、よこ糸を織り込む。

《英》plain gauze、pure gauze《中》素沙《仏》gaze f《伊》tessuto m incrociato

ジャカード織物【じゃかーどおりもの】 紋織物。ジャカード機を使って織物組織で文様を織り出した織物。ジャガード機は、600～1200本のたて糸を自在に上下して杼道（よこ糸を通す口）をつくる装置。

《英》jaquard machine for figured textile《中》提花织物《仏》tissu jacquard
《伊》tessuto m di jacquard

シャットル(飛ひ)【しゃっとる】 上下に開いたたて糸の間（杼道、杼口）に、よこ糸を上下に開いたたて糸の間（杼道、杼口）によこ糸を通す機織用具。
《英》shuttle (flying)《中》梭《仏》navette (volante) f《伊》navetta (volante) f

紗文織【しゃもんおり】 あや織。たて糸の浮きが斜めにつづいて斜文線を現す織物組織。一般に右上がり線が表面。
《英》twill weave《仏》sergé m《伊》twill m (wng.)

シャンタン【しゃんたん】 よこ糸にふし（節）のある糸を織って、不規則な凹凸をもった織物。たて、よこ糸ともに同類の糸で織るとリンシャンである。
《英》shantung《中》双宫绸、山东柞丝绸《仏》shant(o)ung m《伊》shantung m (eng.)

樹脂加工【じゅしかこう】 繊維製品の風合い改善、防しわ、防縮、耐摩耗性向上などを目ざす加工法。一般に樹脂液に浸漬、予備乾燥、ベーキング、ソーピング、乾燥などの工程。
《英》resin finishing

シルクトウ【しるくとう】 絹繊維の柔らかい棒状の集合体。トウ (tow) は長繊維の束の意。→スライバー。
《英》silk tow《仏》étoupe f de soie《伊》slk-tow (eng.)

浸透剤【しんとうざい】 物質が水に濡れ易くなるように働きかける助剤をいう。
《英》wetting agent《中》渗透剂《仏》imprégnant agent《伊》prodotto f penetrante m

スカム【すかむ】 →金属セッケン。
《英》scum

スクリーン【すくりーん】 スクリーン捺染に用いる版型。枠に張られたスクリーン紗上に図柄を切り抜いた紙又はフィルムを接着させたものと、スクリーン紗上に塗布したゼラチンや PVA などの感光不溶性膜などで作られた孔版がある。
《英》screen《中》粗绢《仏》écran m《伊》lastra f

スクリーン捺染【すくりーんなせん】 スクリーン型を用いる捺染法。布にスクリーン型を置き重ね、この上から捺染のりをスキージで印捺し、乾燥、蒸熱などの固着処理をし、水洗などをして仕上げる。スクリーン捺染は手工的及び自動式の様式がある。
《英》screen printing《中》筛网印花《仏》sérigraphie f
《伊》stampa f su un tessuto di screen (eng.)

ストライク【すとらいく】 繊維を染浴に浸漬し始めたとき、染料が繊維表面に吸収

される現象。

《英》strike《仏》absorption f de colorant à la surface des fibres. 《伊》strike (eng.)

スパンシルク【すぱんしるく】 絹紡績糸。副蚕糸を原料として紡績した糸。

《英》spun silk yarn《仏》schappe f, soie f filée《伊》seta f filata

スライバー【すらいばー】 撚りのないシート状又はロープ状の短繊維の集合体。

《英》sliver《中》纱条，绵条《仏》fibre f à sliver《伊》cardatura f

スレ【すれ】 織物が加工中の摩擦によって、部分的に毛羽立ちを生じる現象をいう。濡れた状態で摩擦したときに発生しやすい。

《英》friction mark《中》擦毛、擦白（织疵）《仏》marque f de frottement

《伊》marchio m di frizione

スレン染料【すれんせんりょう】 インダンスレン染料。アントラキノン系建染染料のことで、鮮明で染色堅牢度の優れた染料。

《英》threne dye《仏》thrène colorant m《伊》Threne-dyestuffs (eng.)

整経【せいけい】 たて糸を一定の張力で、所要の長さ・幅・本数を揃える作業。これを「たて巻」作業で緒巻にして、綜絖通しと筬通し作業の後、織機に仕掛ける。→経台、経枠。

《英》warping《中》整经《仏》ourdissage f《伊》orditura f

製織【せいしょく】 織物を織ること。

《英》weaving《中》机织、织造《仏》tissage m《伊》tessitura f

精練【せいれん】 繊維の不純物を除去すること。絹の場合は、セリシンとその他の不純物を除去すること。精練剤としてはセッケン、炭酸ソーダ、クエン酸やタンパク質分解酵素などがある。

《英》degumming (boiling off)《中》精练《仏》décreusage m , dégommage m

《伊》sgommatura f

精練ムラ【せいれんむら】 糸又は織物のセリシンが精練によって均一に除かれないことやその欠点。染めムラや風合いを悪化させる原因となる。練りむら。

《英》uneven degumming《中》精练斑点《仏》irrégularité f de dégommage

セッケン・アルカリ精練【せっけんあるかりせいれん】 セッケン精練は、手触り、光沢、白度、外観などがよいが、精練能率が低い。そのため、マルセルセッケンとアルカリ性 Na 塩と併用し、互いの欠点を補完する精練方法。

《英》boiling off with soap-soda《中》肥皂碱精练《仏》dégommage m au savon alcalin

《伊》sgommatura f da sapone

セリシン定着【せりしんていちゃく】 生糸のセリシンを、化学的処理によって熱水、アルカリ、酸などに不溶性とし、有効に利用しようとする加工方法。

《英》sericin fixation《中》丝胶固定《仏》fixation séricine《伊》fissazione f sericina

染色【せんしょく】 浸染､染めることの意味。一般的に被染物の汚れを洗い落として、染浴中に浸漬し、染料を吸収させ、水洗又は洗浄して乾燥する操作の総称。

《英》dyeing《中》染色《仏》teinture f《伊》tintura f

染色加工【せんしょくかこう】 糸や織物などの染色だけではなく、化学加工や仕上げ加工なども含めて染色加工と呼ぶ。

《英》textile dyeing and finishing《中》染色加工《仏》finissage m de teinturee

《伊》tintura f e finisaggio m

染色堅牢度【せんしょくけんろうど】 染色物の日光、汗、摩擦、洗濯に耐える程度をいう。数字が大きいほど強い。

《英》color fastness《中》染色牢度《仏》solidité f à la teinture《伊》resstente di tintura

染色助剤【せんしょくじょざい】 助剤ともいう。染色において染料以外を総称する。染料の染着量、速さの調節剤や、均染剤、緩染剤などがある。

《英》dyeing assistant《中》染料助剤《仏》agent auxiliair de teinture ○

《伊》dyeing auxiliary (eng.)

染色性【せんしょくせい】 染料の染まりつく性質。

《英》dyeing property《中》染色性

洗濯堅牢度【せんたくけんろうど】 洗濯による染色物の変退色及び洗物への汚染）の程度を表す。　詳細は JIS L 0844を参照。

《英》color fastness to washing《中》洗涤牢度《仏》solidité f au lavage

《伊》fastness to washing, colour fastnss to washing

染着座席【せんちゃくざせき】 染料分子は繊維中の非結晶領域にある -OH、-NH_2、-COOH などの官能基や末端基と結合して染着する。このような染料の染着する場所を染着座席という。

《英》dyeing site《仏》siège m de teinture 《伊》dyeing capacity (eng.)

染着平衡【せんちゃくへいこう】 染料が繊維に吸着されて飽和状態になり、染料の吸着も脱着も起らない状態をいう。

《英》dyeing equilibrium《仏》équilibre m de teinture

《伊》dffusionrate and dyeing equilibrium (eng.)

染着量【せんちゃくりょう】 被染物に染着した染料の量。

《英》dyeing capacity, dyeing uptake《仏》capacité m de teinture

《伊》dyeing capacity (eng.)

染浴【せんよく】 繊維製品の染色のために調整した染料や助剤を含む溶液のことをいう。

《英》dye bath《仏》bain m de teinture《伊》dye bath (eng.)

染料【せんりょう】 物質、特に繊維を染める目的に使われる固有の色をもつ有機化合物をいう。

《英》dye, dyestuff《中》染料《仏》colorant m《伊》sostanza f colorante

染料固着剤【せんりょうこちゃくざい】 染料を繊維に固着させ、水洗や洗濯中又は汗などによって染料が色落ちしないようにする薬剤。→固着。

《英》dye fixing agent《中》染料粘着剤《仏》agent m fixateur de colorant

《伊》dye-fixing agent (eng.)

増量加工【ぞうりょうかこう】 繊維に薬剤を付着させて重量を増す加工法。絹の場合、グラフト加工やタンニン、すず増量法がある。

《英》weighting

ソーダー返し【そーだーがえし】 油分やセッケンかすなどを除くため、薄いソーダー灰溶液に通す。

《英》soda washing

ソーピング【そーぴんぐ】 織物などを洗浄すること。染色では、染色後の被染物に付着した余分な染料を除去し、染色堅牢度の向上を図る。化学加工においても染色のそれと同様に製品表面の過剰な加工剤の除去を目的に行われる。

《英》soaping《中》浸渍、泡丝《仏》savonnage m《伊》soaping (eng.)

染め足【そめたし】 染着速度のこと。染着速度は染料によって異なる。

《英》dyeing speed《仏》vitesse f de teinture

《伊》diffusion rate and dyeing equilibrium, rate of dyeing (eng.)

染め斑(ムラ)【そめむら】 染色された同一可染物の色相に不規則な濃淡又は色相の違いなどがあること。染料、助剤、染色機械操作、染色前後の処置が原因となるが、染色前の製織、染色仕上げ準備工程も原因となることがある。

《英》dyeing speck、unlevel dyeing《中》染斑，染色不匀《仏》teinture f inégale

《伊》tinta f irregolare

耐光堅牢度【たいこうけんろうど】 染色物の日光、蛍光燈などの光に対する変退色の程度を1～8級で表す。　詳細はJIS L 0842を参照。

《英》color fastness to light《中》耐光堅牢度《仏》solidité f à la lumière
《伊》colour fastness to light (eng.)

高機【たかはた】 たて糸を緒巻と布巻の間に張り渡した腰掛式の木製手織機。わが国では、奄美大島、八丈島、沖縄など伝統織物産地で使用している。
《英》TAKAHATA hand loom ordinary《中》手工织机《仏》métier m à bras ordinaire
《伊》telaio m a mano , altro nome “takahata”

多色染【たしょくせん】 異色染め。
《英》multicolor dyeing

脱色【だっしょく】 染色、捺染物の色を抜きとることで、完全に消色したり一部を抜きとることもある。脱色剤は亜塩素酸ナトリウムなどの酸化剤やハイドロサルファイトなどの還元剤が使用されている。
《英》decoloring《中》脱色《仏》décoloration f《伊》decoolorazuine f

たて(経)糸【たていと】 織物のたて方向の糸。機織りにあたって、織機に張り渡しておく糸。たて糸を巻き重ねると緒巻。たて糸ビームという。
《英》warp yarn,《中》经线《仏》chaîne f《伊》ordito m, catena f

たて糸通し(へ通し)【たていととおし】 たて糸を綜絖へ通す作業。へ通し。
《英》drawing-in

たてしま(縞)【たてしま】 織物欠点の一つで、経糸の撚数、太さ、光沢度など糸の物理的性質の不均一や経糸張力、染着度などの不均一な糸を混合したため、織物のたて方向に縞が現れたものをいう。
《英》warp streak , stripe《中》经向条纹，经向条花《仏》rayé série de chaîne, bande
《伊》striscia f dei orditi

たて朱子(織)【たてしゅすおり】 たて糸が表面に出る朱子。
《英》warp satin《仏》satin m chaîne

建染染料【たてぞめせんりょう】 それ自身は水に不溶であるが、アルカリ性還元液で水溶性のロイコ塩となって繊維に吸着される染料をいい、空気に触れると容易に酸化されて、繊維上で元の不溶性染料に戻る。
《英》vat dyes《中》还原染料《仏》colorant m de cuve《伊》vat dyes (eng.)

経巻【たてまき】 たてまき。機械整経は、整経と一体化しているが、手織りでは、整経後のたて糸を緒巻に捲く作業。→整経、経台、経枠。
《英》beaming《仏》pliage m《伊》warping (eng.)

タフタ(織)【たふたおり】〔別名〕薄琥珀、浜琥珀。(1)たて糸にもろより本練

糸，よこ糸に片より本練糸を使用した密度のち密な平織物。（2）無より又は甘よりの化学繊維フィラメント糸を用いた密度のやや緻密な平織物。

《英》taffeta《中》塔夫绸《仏》taffetas m《伊》taffeta' m

玉虫織【たまむしおり】 平織りで、たて糸とよこ糸に別々の色糸を織り込む。観察する方向で、織物表面の色が変化する。昆虫・玉虫の羽根のように見えるので、この名がある。

《英》iridescent silk《中》闪色塔夫绸《仏》changeant《伊》shot silk taffeta

タンパク質繊維【たんぱくしつせんい】 タンパク質でできた繊維の総称で、絹、動物毛、コラーゲン繊維などの天然物と牛乳カゼイン、大豆たんぱく由来の再生タンパク質繊維などがある。

《英》protein fiber《中》蛋白纤维《仏》fibre f protéique《伊》fibro m proteinico

チーズ染色【ちーずせんしょく】 糸をチーズ巻きしたまま染めること。チーズ染色は、はめ込み式又はスピンドル式染色機を用いる。

《英》cheese dyeing

ちか（織）【ちかおり】 織物の欠点の一つ。特にフィラメント織物に現れやすい。整経糊付け、よこ管巻き、製織の際、たて糸、又はよこ糸の1本又は数本に異状の張力がかかった場合、反射光線によって、織物の表面にちかちか光った糸が現れる欠点。

《英》difect “CHIKA”《中》糙斑《仏》défaut “CHIKA”《伊》difetto di “CHICA”

地染め【ぢぞめ】 文（紋）様のある染織物又は図案で、文様以外の部分を地といい、その色を地色という。捺染などで地色を染める操作を地染めという。

《英》ground dyeing《仏》teinture f du fond《伊》tinto m in filato

着色抜染【ちゃくしょくばっせん】 地色を抜染し、着色を行う捺染法。

《英》colored discharge printing《仏》impression f couleur de décharge

《伊》coloured discharge style (eng.)

着色防染【ちゃくしょくぼうせん】 防染と同時にその部分を異色に染色する模様染法。

《英》colored resist printing《仏》teinture f couleur à réserve

《伊》coloured resist style (eng.)

直接染料【ちょくせつせんりょう】 木綿など植物繊維、絹・羊毛など動物繊維などに、芒硝など助剤を加えるだけの中性染浴で染色できる。一般に堅牢度が低い。

《英》direct dyes

ちりめん【ちりめん】 縮緬。後練り強撚糸織物。たて糸は普通撚り。よこ糸は、S

とＺの約2,000T／ｍの片強撚生糸を八丁撚糸機で湿し撚り。製織後、精練してシボ(皺)を現す。たて・よこ糸強撚糸織物がジョーゼットである。→お召し。

《英》crepe《中》绉绸《仏》crêpe f《伊》tessuto m di crespo(=chirimen)

綴織【つづれおり】 TUZUREORI、織物組織は平織。地のよこ糸は両耳まで通るが、文様部分は、色糸をそこで折返して織る。したがって、色の異なる部分の境界に把釣り穴の隙間が明く。

《英》Japanese Gobelin《中》纺织锦《仏》tapisserie f《伊》tappezzeria f

つぼのり(糊)つけ【つぼのりつけ】 １本糊つけ。糊つぼの中に糸を通過させる糊つけ法。糊付け糸は綛に巻き、湿し布で包むなど乾燥を遅らせ、糊の浸透と均一化を図る。後、風乾する。羽二重に応用する。

《英》pot sizing《中》单丝托浆《仏》pot-dimensionnement

《伊》incollatura f a filo singolo

錘（つむ）【つむ】 管巻きや撚糸作業において、管を装着する鉄製心棒。八丁撚糸機の場合、長さ30cm、直径5～6mm。

《英》spindle《中》锭子《仏》fuseau m《伊》fuso m

つむぎ【つむぎ】 真綿を手でつむぎだした糸をたて・よこ糸に使用した手織でかすり，しま、白などに織りあげた先練織物。

《英》tsumugi (hand spun silk fabric)《中》手织绵绸《仏》soie filée à la main, pongé m

《伊》tsumugi tessuto (seta filata a mano)

つり練り【つりねり】 精練法の一種で、布を折りたたみ、片耳に付けた輪状の糸に棒を通して液につり精練する方法。

《英》boiling in loop《中》吊练、竿练

《仏》dégommage m suspendant l'étoffe aux baguettes《伊》boiling in loop (eng.)

低温染色【ていおんせんしょく】 ナフトール染料や建染染料などの染法のように低い温度で染色すること。

《英》low temperature dyeing《中》低温染色

手織(り)【ており】 地機（腰機）、高機、卓上織機など、動力を使わないで手づくり布帛を織る作業。結城紬、奄美大島紬、黄八丈、また西陣の有職（ゆうそく）など、地域独特の伝統織物産業や、家庭での染織工芸の制作に使う。

《英》hand weaving《中》手工织绸《仏》tissage m à la main《伊》tessitua f a mano

手ざわり（風合い）【てざわり】 触感。手ざわり。個人差や季節や地域によっても評価が一致しない場合があるが、染織製品の大きな評価基準である。

《英》handling《中》手感《仏》texture f《伊》tatto m

手捺染【てなせん】 機械に拠らず手工芸的に捺染模様を染め出す方法。

《英》hand printing《中》手工印花《仏》teinturefà f la main

《伊》stampa f di tessuto a mano

転写捺染【てんしゃなせん】 紙やフィルムなどの転写紙に印刷された色材（分散染料や顔料など）の模様を布に圧着加熱して捺染する方法。転写紙はグラビア印刷やインクジェット印刷して作成する。

《英》copy printing《中》转移印花《仏》impression f de transcription

《伊》transfer print (eng.)

テンター【てんたー】 織物の幅を一定に幅出ししながら乾燥する機械のことをいう。また、テンターは合成繊維織物のヒートセットや綿、レーヨン織物の化学加工等にも使用されている。

《英》tenter《中》拉幅机《仏》tendeur m《伊》tenter (eng.)

天然繊維【てんねんせんい】 天然繊維は、構成分子が長鎖状で外観が繊維状になっているものを原料とした繊維であり、採取される原料によって植物繊維、動物繊維、鉱物繊維に細分される。

《英》natural fiber《中》天然纤维《仏》fibre f naturelle《伊》fibra m naturale

天然染料【てんねんせんりょう】 自然界に存在する染料や色素の総称で、藍の草木から採れる藍や茜から得られるアリザリンなどがある。→植物染色、動物染料。

《英》natural dyes《中》天然染料《仏》colorant m naturel

天日乾燥【てんぴかんそう】 繭糸及び織物類の乾燥方法の一つで、太陽熱と風を利用して乾燥する。乾燥機による機械乾燥に対して自然乾燥ともいう。

《英》solar drying《中》日晒干燥《仏》séchage m au soleil

《伊》far seccare i bozzoli sotto il sole

天日漂白【てんぴひょうはく】 木綿や麻などの漂白法の一つ。木綿や麻などの製品を濡らして天日に暴露すると水分が日光の紫外線によりオゾン又は過酸化水素となり、それらの酸化作用で製品を漂白する。→酸化漂白。

《英》sun bleaching《中》日晒漂白《仏》blanchiment m par le soleil

《伊》imbiancamento m sotto il sole

添付白布【てんぷはくふ】 染色堅牢度試験の場合、汚染の程度を判定するのに使用する白い布。詳細はJIS L 0803を参照。

《英》undyed cloth for staining《仏》tissu m écru pour essai

《伊》standard adjacent fabric undyed cloth for staining (eng.)

同色染め【どうしょくぞめ】 異種繊維の混紡糸又は交織物などを構成する繊維を同じ色に染色すること。

《英》solid dyeing《中》单色染色

泥染【どろぞめ】 植物を煎じて得たタンニンを含む染液に被染物を浸漬し、鉄分の多い泥田に漬けて鉄媒染して茶～黒色に染める染色方法。奄美大島の大島紬、八丈島の黄八丈など。

《英》mud dyeing,(traditional)《仏》teinture f en boue《伊》mudding (eng.)

どんす（緞子）【どんす】 たて糸は練絹諸撚り、よこ糸に同片撚り糸、朱子組織を表と裏に使った紋織物。薄地は布団や裏地、厚地は帯に使う。

《英》DONSU,degummud silk-fabric of reversible satin《中》段子、锦缎

梨地織【なしじおり】 梨の実のようなザラザラ感を表わす織物組織によって、一見クレープ様の外観をもつ。

《英》crape weaves《仏》granité m《伊》crape weave (eng.)

捺染【なせん】 染料などを配合したのり剤をなすり染めることで、印捺、描画、転写などの技法で糸布を染めること。

《英》textile printing《中》印花《仏》impression f sur étoffe《伊》stampa f

ななこ (斜子) 織【ななこおり】 ななこおり。たて・よこ共に2本の以上を同じ織口に並べて、平織りのように組織する。光沢に富み、柔軟である。耳が組織しにくいので、別耳が必要である。

《英》basket weaves

ナフトール染料【なふとーるせんりょう】 染料の生成に必要なカップリング成分としてナフトール AS 類（下漬剤）と、ジアゾ成分としてジアゾ化ベース類とで繊維上で不溶性アゾ染料を作り、染色する染料をいう。

《英》naphtol dyes《中》萘酚染料《仏》colorant m naphtol《伊》naphthol dyes (eng.)

難燃加工【なんねんかこう】 不溶性の物質を付与又は結合させて、繊維製品を燃えにくくする加工方法。

《英》fireproofing《中》难燃烧处理《仏》finissage m d'ignifugation

《伊》trattamento m per incombustiibile , (fireproof (eng.))

錦【にしき】 色糸を用いた紋織物の総称。日本固有の華麗な織物。神社・仏閣の荘厳品。大和錦（倭錦）・唐錦・蜀江錦・繧繝錦、など。僧の法衣・能装束、帯などにも用いる。三世紀の魏志倭人伝に異文雑錦の記録がある。

《英》NISHIKI、Japanese figured textile《中》织锦《仏》tissu m façonné polychrome
《伊》tessuto “nishiki”, (broccato)

ニット【にっと】→編物。
《英》knitting fabric《中》编织、编织物《仏》tricotage m《伊》maglia f

布染め【ぬのぞめ】反染め、後染めともいい、布状で染色する。ウインス染色機、ジッガー染色機がある。
《英》piece dyeing《中》绸染

紕【ぬめ】生糸で織って精練した繻子組織の薄地織。
《英》NUME,thin silk-satin《中》生绢

ぬれぬき【ぬれぬき】水に浸して織る緯糸。生糸など比較的固い糸を緯糸として織込む場合、水に浸して織る緯糸。生糸など比較的固い糸を緯糸として織込む場合、水分を含ませると適度の柔軟性と合糸の集束性が増し、織物の風合いも良くなる。
《英》wet weft《中》湿纬《仏》trame f humide《伊》trama f bagnata

熱転写捺染【ねつてんしゃなせん】→転写捺染。
《英》heat transfer printing《中》热转移印花

練絹【ねりぎぬ】生糸で織った生織物を精練してセリシンを除いた織物。
《英》degummed silk, boiled-off silk《中》精练织物
《仏》soie décreusée, soie décrouée,soie dégommée《伊》seta sgommata, seta purgata

練減り【ねりべり】生糸や生織物などを精練した時のセシリンや無燃物などの溶解に伴う重量減少をいう。
《英》degumming loss《中》练减

練減り率(精練)【ねりべりりつ】生糸や生織物などを精練したときのセリシンや無機物などの溶解に伴う重量減少を練減りといい、それを表す比率を練減率という。。精練前の重量から精練後の重量を引いた値の、精練前の重量に対する百分率で表す。
《英》degumming loss percentage《中》练减率《仏》pour centage m du perte degomee
《伊》percentuale di perdita sgommatura

練むら【ねりむら】→精練むら。
《英》uneven degumming《中》精练斑， 精练不匀《仏》dégommage inégale
《伊》perdita f sgommatura irregolare

ねん糸(撚糸)【ねんし】2本以上の生糸を合糸して撚る作業。八丁式撚糸、合撚機など、撚糸の用途に適した道具がある。→八丁撚糸、イタリー式撚糸、合撚。
《英》1.twisting throwing , 2. twisted yarn, thrown silk, filatoiate《中》捻丝

《仏》moulinage m, ouvraison f moulage m de soie , soie f moulinee molinier, molineur, ovaliste, moujinage

《伊》torcitura f della seta (seta ritorta)

ノイル織物【のいるおりもの】主として絹紡ちゅう糸を使用した節の多い平織物。絹紡紬糸 (絹紡糸をつくるときに出たくず糸を紡いだもの) が、節の多いノイル織物の原料になる。

《英》noil cloth《中》抽丝织物《仏》tissu m bourrette《伊》tessuto m di noil

ノニオン界面活性剤【のにおんかいめんかっせいざい】水中でイオンをつくらない界面活性剤。アニオンまたはカチオン活性剤と併用しても沈殿物ができず、互いの長所が生きる。

《英》nonion surface active agent《中》非离子表面活性剤

のり抜き【のりぬき】織物の精練、漂泊などの前処理として、布に浸透性と均染性を与えるため、製織工程でのり付けした布上ののり剤を除去する工程をいう。絹ののり抜き剤は精練剤と類似のアニオン又は非イオン活性剤を用いる。

《英》desizing《中》脱浆《仏》désencollage m《伊》disincollaggio m

媒染（剤）【ばいせん】染料が被染物に対して染着性がない場合、これを繊維に染着させるのに染料を染着させる媒染剤で繊維を処理することを媒染という。媒染剤は①アルミニウム、クロム、鉄などの金属塩類②タンニン酸と吐酒石などが使用されている。

《英》mordanting《中》媒染（剤）《仏》mordant m《伊》mordente m

媒染染料【ばいせんせんりょう】媒染剤の適用により目的の色相と染色堅牢度になる染料。・ハイドロサルファイト　sodium hydrosulfite　亜二チオン酸ナトリウムの俗称。強力な還元作用があるので、建染染料の染色や脱色剤、抜染剤などとして使用されている。

《英》mordant dye《中》媒染染料《仏》colorant m à mordant《伊》tinta f mordente

パイル織物【ぱいるおりもの】タオルやビロードのように輪奈や毛が表面に出た織物。

《英》pike fabrics《中》绒织物《仏》tissu m à poil《伊》pelo m

博多織 (り)【はかたおり】博多地方の伝統的絹織物。練たて糸を密に筬に引っ込み、間丁を強力に張りつつ太いよこ糸を織る。表面はたて糸に覆われる。文様は独鈷・花菱など表裏が反対に現われる。

《英》HAKATAORI thick-belt for KIMONO《中》博多绸

《仏》armure f “Hakata”, poil m traînant “Hakata”《伊》“Hakata” weave (eng.)

パジング【ぱじんぐ】 パジング・ロールを使って布を広げたまま、薬液や染浴に通し、均一に絞って液を浸み込ませる操作。

《英》padding

機上げ【はたあげ】 はたあげ。機仕掛。たて糸の整経、綜絖通し、筬通しの後、織れる状態までの準備作業をいう。

《英》looming

機織り【はたおり】 製織。織物を織る動作や工程。

《英》weaving《仏》tissage m《伊》processo m completo di tessitura

機掛け【はたがけ】 経糸引込みの終わったワープビームを織機に掛け、織機が正常に運転できるようにするまでの工程を機掛けという。

《英》gaiting-in, looming, gait-up《中》上机《仏》gaiting enmétiers à tisser gait-up

《伊》preparazione f completa di telai prima di avviamento

蜂巣織【はちのすおり】 舛織り。織物表面にたて・よこ糸が舛目状に現れて、織物が嵩高くなる。夜具のシーツに多く用いられる。

《英》honeycomb weaves《仏》armure f nid d'abeilles

《伊》cellulitis (hachisu) weave (eng.)

パッケージ染色機【ぱっけーじせんしょくき】 →オーバーマイヤ

《英》package dyeing

発酵精練【はっこうせいれん】 →酵素練り。

《中》发酵精练《仏》dégommage m à l'enzyme《伊》fermentazione f di sgommatura

抜染【ばっせん】 抜染とは、糸布を無地染めし、部分的に抜色して抜き模様を出す捺染方法。抜染剤は亜硫酸塩、ハイドロサルファイトなどの還元抜剤と塩素酸塩、重クロム酸塩などの酸化抜剤が使用されている。

《英》discharge《中》拨染印花《仏》impression f de décharge

《伊》discharge printing (eng.)

バッタン【ばったん】 飛杼筬柄（とびひおさづか）。1733年イギリス人ジョン・ケイが発明。日本に1873年（明治６）に導入された。片手で吊り紐を急激に引いて杼を往復運動させ、他方の手で筬打ちする。高能率なので、従来の手投げ杼に代って活用された。

《英》Batten, flying shuttle《中》筘座《仏》battant m, navette f volante

《伊》telaio m con sistema navetta volante

八丁撚糸【はっちょうねんし】 湿式撚糸機。横錘20本が、八丁車のシラベ紐で回転し、糸管の糸は加撚されつつ、錘取られて綛枠に巻き揚げられる。撚り数は巻揚げ速さで決

まる。湿し撚りのお召し・ちりめんよこ糸の撚糸に適切。→お召し。ちりめん。

《英》HATTYONENSI、traditional Japanese twister《中》八丁捻丝机

《仏》“haccho” machine à envoyer《伊》torcitoio m tipo 'haccioo”

バット染料【ばっとせんりょう】→建染染料。

《英》vat dyes《中》还原染料《仏》colorant m de cuve《伊》vat dyes (eng.)

羽二重【はぶたえ】たて・よこ糸に無よりの生糸を使用した主として平織の後練織物。たて糸はおさ１羽に２本入れとして、湿したよこ糸で製織する。織物組織により、平，あや，朱子，紋各羽二重などがある。

《英》habutae《中》电力纺

《仏》taffetas m “habutaé”,tissé en grége et degommé en pièce《伊》“habutae” tessuto

半染時間（染め足）【はんせんじかん】染着平衡に達するまでの半分の時間のことで、半染時間が小さい染料ほど、染着平衡に達するのが早いことを表す。→染め足。

《英》time of half dyeing

半綜絖【はんそうこう】10番手縫い糸太さの綿糸。織り手自ら作る綜絖。上げるだけの機能であるが、あや押さえ棒の働きで開口できる。→かけ糸、綜絖。

《英》a warp-lifting device of handloom《仏》maille f pour la moitié de chaînes

《伊》a warp-lifting device of a handloom (eng.)

番手【ばんて】糸の太さ。

《英》yarn number count《中》支数，号数《仏》titre m

《伊》titolo (“bante”, per shorter-fibre) , itolo (“denier”, per lomger-fibre)

反応染料【はんのうせんりょう】繊維と共有結合する染料で、色相が鮮明で染色堅牢度に優れている。40～50℃の低温で染色するジクロルトリアジン系反応染料、60～80℃で染色するビニルスルホン系反応染料などがある。

《英》reactive dyes《中》活性染料《仏》colorant m réactif《伊》tinta f riattiva

ひ（杼）【ひ】機織りの際、よこ糸管を収納して、たて糸に織込む道具。地機用（刀杼）；長さ55～60cm ×300～400g、高機用；長さ約25cm ×重さ約60g、力織機用；長さ約28cm ×重さ約150g、などがある。

《英》shuttle《中》梭，梭子《仏》navette f《伊》navetta f

非イオン活性剤【ひいおんかっせいざい】→ノニオン界面活性剤。

《英》nonion surface active agent

引き込み【ひきこみ】たて糸を綜絖と筬に通す作業。かぎ針と筬通し具（さんご）を使う。筬通し具は、筬の天地の真ん中で使う。こじっても筬羽を傷めない。

《英》drawing-in《中》穿经

ひロ（杼口）【ひぐち】 織機で布を織る際、ぴんと張った経糸を上下に分けて開口して隙間 (杼口、ひぐち、shed) をつくり、その間に緯糸を収めたシャトルを投げ入れて、緯糸を一方の端から反対側の端まで通す。

《英》shed《中》梭口《仏》pas m, foule f, marchure《伊》bocca f di tessitura

非結晶領域【ひけっしょうりょういき】 一般に繊維など高分子物質には分子の形状や配列が緻密な部分（結晶領域）と無秩序な部分があり、後者をいう。染色は、この非結晶領域で行われるので、染色加工では非常に重要な領域である。

《英》amorphous region《中》非晶形区《仏》Non-cristallin domaine m f

ピッケ【ぴっけ】 たて二重織りで、表は平織り、裏糸の接結組織点でよこ方向の凹線を織り出す。たて方向に凹線を織り出すとベッドフォード・コード（bedford cord）とよばれる。→畝織物。

《英》Pique《中》种起棱纹布

一越縮緬【ひとこしちりめん】 たて糸に無よりの生糸、よこ糸にＳ・Ｚ強ねんの生糸を１本交互に使用した平織のちりめんの一種。きめの細かいしぼ立ちを特色とする。

《英》hitokoshi crepe (pick and pick)《中》一越皱绸《仏》“hitokoshi”crêpe

《伊》“hitokoshi” crepe (pick and pick)

標準青色染布【ひょうじゅんあおいろせんぷ】 耐光堅牢度試験において、試験布とともに露光し、試験布の堅牢度の判定に使用する。ブルースケール。　JIS L 0841 を参照。

《英》light-fastness standards《仏》norme m de résistance à la lumière

《伊》standard blue scale multi color dyeing (eng.)

漂白【ひょうはく】 繊維中の有色不純物を酸化または還元処理で白くする。過酸化水素やハイドロサルファイトを使う。

《英》bleaching

平織 (り)【ひらおり】 たて糸を１本交互に上下してよこ糸を組織する。三原組織の一つ。織物の基本。

《英》plain weave《中》平纹组织《仏》taffetas m《伊》tessitura tela f

平絹【ひらぎぬ】 HEIKEN、へいけん。たて・よこ糸共にほぼ同じ太さの無地の平織絹布の総称。古代は縑（かとり）・絁（あしぎぬ）・白絹・絹などと呼ばれた。羽二重よりやや品質が劣るのが平絹。

《英》HIRAGINU《中》生绢《仏》taffetas m《伊》tessuto m di seta semplice

フィブリル【ふぃぶりる】フィブロイン繊維を構成する直径約1μmの微細繊維で、1本のフィブロイン繊維は約100本のフィブリルで構成され、フィブリルはミクロフィブリルの集合体である。

《英》fibril《中》原纤维《仏》fibrille f《伊》fibrilla f

フィブロイン【ふぃぶろいん】フィブロインは絹繊維の主成分で熱水に不溶で、耐薬品性に優れた硬タンパク質である。グリシン、アラニン、セリン、チロシンなどのアミノ酸で90%以上を占める。

《英》fibroin《中》丝心蛋白《仏》fibroine f《伊》fibroina f

フィラメント【ふぃらめんと】絹糸や合成繊維のように長い繊維のことをフィラメントという。フィラメントを集めて作った糸をフィラメント糸という。絹は天然繊維の中で唯一のフィラメント糸である。

《英》filament (-yarn,,-fabric)《中》长丝《仏》filament m《伊》filamento m

風合い【ふうあい】繊維又は繊維製品に対する視覚、触覚による官能的な品質評価のこと。→手ざわり。

《英》feeling《中》手感《仏》texture f《伊》tatto m

風通織【ふうつうおり】二重平織りで、たて・よこ異色の糸を1本切替えで使い、表裏を入れ替えると、鮮明な文様ができる。よこ糸を別々に織ると、異色2枚の平織が表裏にできる。共通のよこ糸を織ると筒状になる。→重ね織り。

《英》reversible figured double cloths《中》双面异色组织《仏》double-étoffe

《伊》reversible figured double weave (eng.)

袋練り【ふくろねり】目の粗い袋に入れ、絹を精練する方法をいう。

《英》boiling in sack《中》袋练《仏》dégommage m au sac《伊》boiling in sack (eng.)

節（糸）織【ふしおり】ふしのある糸をよこ糸に織ったもの。玉糸やつむぎ糸織も、この一種。

《英》douppion fabric《中》颖节《仏》taffetas tissé avec trame de doupion

《伊》cloth of knotted silk (eng.)

富士絹【ふじぎぬ】絹紡糸をたて・よこ糸に用いた平織物。絹紡平絹。

《英》span silk-fabrics《中》绢丝纺《仏》soie m FUJI, taffetas m tissé avec schappe

《伊》“fuji” silk (eng.)

太織【ふとり】「ふとおり」が詰って「ふとり」。太糸を織り込んだ織物、よこ糸玉糸使いも太織という。生糸以外の絹糸を使った絹織物。

《英》coarse fabric《中》绵绸《仏》tissu m grossier《伊》coarse kind of silk cloth (eng.)

歩練り【ぶねり】 セリシンの一部を絹繊維上に残して、練り絹とは異なる風合いや触感を得る精練方法。しかし、セリシンの変性による絹糸の風合いの悪化を招くことがある。また、セリシンの残留状態によっては染めむらを招く恐れがある。

《英》partial degumming《中》部分练《仏》dégommage m partiel

《伊》agommatura f parziale

布帛【ふはく】 布の総称。原料から見て、「布」は木棉を含む麻類、「帛」は絹の意。構造から見て、織物 (weaving fabric) と編物 (knitted fabric) に分類できる。

《英》fabric《仏》étoffe f《伊》tessuto m (termine generale dei tessuti)

踏木【ふみき】 織機の下部にあって、開口のため綜絖を引下げるロッド。手織り機に附属して足で押し下げた呼称。動力織機も同じ。

《英》treadle《仏》marche f, pédale f《伊》a treadle of a loom (eng.)

プリント【ぷりんと】 →捺染。

《英》print《中》印花《仏》impression f《伊》stampa f

ふるい絹【ふるいぎぬ】 製粉用の粉篩。紗織の生糸織物。帯電障害がない。

《英》bolting cloth《中》筛绢《仏》toile à bluter《伊》seta f per setaccio

分散染料【ぶんさんせんりょう】 ナイロンやポリエステルなどの疎水性繊維を水中分散浴から染色する染料のこと。染法が簡易で、色数が多いが、水、洗濯、汗堅牢度に劣る。特にガス退色しやすい。

《英》disperse dyes《中》分散性染料《仏》colorant m dispersé《伊》tinta f dispersione

噴射精練・染色【ふんしゃせいれんせんしょく】 綛を吊るしたパイプの穴から染液を噴射しながら綛を回転させて染色を行う綛染め機。絹の精練や染色にこの染色機が用いられ、染液の浸透が良好で糸がもつれないことなどの特徴がある。

《英》spray type hank dyeing machine

《中》喷射精练・染色《仏》machine f d'injection à dégommage et teinture en echeveau

《伊》spray type hank. dyeing machine (eng.)

平絹【へいけん】 HEIKEN、へいけん。たて・よこ糸共にほぼ同じ太さの無地の平織絹布の総称。生糸で織った生織物と、生織物を精練した練絹がある。日本古代は縑 (かとり)・絁 (あしぎ)・白絹・絹などと呼ばれた。甲斐絹もその一種。上質のものを羽二重。平絹はやや品質の劣るものを指す。現在、着物の滑りをよくする胴裏はこれ。

経台【へだい】 整経台。両側に（例えば1.8m）杭（例えば10cm）を数本ずつ植えた四角枠状の台。相対した杭間を順にたて糸を掛け渡して整経する。反復して重ね、糸束が

総たて糸数に達すれば、あやを紐で括り、反対端から鎖状に外して完結。

《英》handy warper(go and return method)《仏》ourdissoir m《伊》swift, reel (eng.)

ヘルド【へるど】 綜絖。織機の開口装置に用いられる器具。

《英》heald, heddle, harness《中》棕丝、棕片

経枠【へわく】 整経枠。枠の（例えば桟８本､周長3m）1本の桟に取付けた始めの杭と、あや取り杭の間を整経長とし、たて糸を螺旋状に反復して巻き重ね、糸束が総たて糸本数に達すれば、あやを紐で括り、反対端から鎖状に外して完結。

《英》hand warper(spiral method)《仏》ourdissoir m《伊》warping frame (eng.)

変化斜文織【へんかしゃもんおり】 斜文組織から誘導される破れ斜文､飛び斜文、山形斜文、組斜文など。４枚繻子は、正規の繻子でなく破れ斜文。

《英》irregular twill

変化朱子 (繻子) 織【へんかしゅすおり】 斜文組織から誘導される変則朱子・重ね朱子・昼夜 (表裏) 朱子・暈かし朱子など。

《英》irregular satins

変化組織【へんかそしき】 平・斜文・朱子の三原組織から誘導されるさまざまの組織の総称。

《英》derivative weaves《仏》armure f dérivée《伊》derivative weave (eng.)

変退色グレースケール【へんたいしょくぐれーすけーる】 耐光堅牢度以外の染色堅牢度の格付けに使われる変退色判定用のグレースケールをいう。

《英》grey scale for assessing change in color

《仏》échelle f grise pour la mesure des changements de couleur

《伊》gray-scale for discoloration (eng.)

防炎加工【ぼうえんかこう】 織物などが炎を発生して延焼することを防止する加工法で、防火加工ともいう。

《英》antiflaming《中》防燃防焰整理《仏》finissage m ininflammable

《伊》trattamento m anti infiammabile

防汚加工【ぼうおかこう】 汚れは乾性、水性及び油性に分類でき、それらが繊維の間や繊維表面に吸着したり化学反応する。これらの汚れの付着を防止するのが防汚加工である。代表的な防汚加工剤にスコッチガードがある。

《英》soil resistant finish《中》防污处理《仏》finissage m de antisalissure

《伊》soil resistant finishing (eng.), (ex.antwerpen ect.)

防縮加工【ぼうしゅくかこう】 布帛の洗濯や熱水などによる収縮を防止する加工。

化学反応の利用、樹脂加工、物理加工又はこれらの併用による方法で加工を行う。

《英》shrink proofing《中》防缩整理《仏》finissage m irrétrécissable

《伊》resistant [preshrunk] fabrics (eng.)

膨潤【ぼうじゅん】 繊維を水又はある電解質に浸漬するとその容積が増大する現象を膨潤という。水による膨潤は非結晶領域に起こり、結晶領域はほとんど関係しない。

《英》swelling《中》膨张（水）《仏》enflure f《伊》rigonfiamento (con l'acqua) m

防しわ加工【ぼうしわかこう】 しわを付けてもしわが残りにくい性質を付与するために用いる防しわ加工剤で処理した加工。防しわ加工剤は、繊維中で架橋結合を形成するものが用いられている。

《英》crease proofing《中》防皱整理《仏》finissage m infroissable

防水加工【ぼうすいかこう】 防水剤を用いて行う仕上げ加工。耐久性から一時的又は永久的防水加工法に分類される。さらに通気性と不通気性加工法とがある。一般に防水加工法では、永久的な通気性加工法が重要となる。

《英》water proofing《中》防水处理《仏》imperméabilisation f《伊》impermeabilizzato

紡績糸【ぼうせきし】 綿や羊毛、麻などの繊維長の短い繊維を束ね、撚りをかけて、非常に長い糸にする工程を紡績といい、紡績して糸にしたものを紡績糸という。

《英》spun yarn《仏》filé m《伊》filaito m da fibra in fioco

防染【ぼうせん】 染料や媒染剤の浸透や固着を妨げるような防染のりを印捺した後、地染めして模様を出す染法。防染のりに加える防染剤には、ロウ、クレー、樹脂などの物理的防染剤と酸化剤、還元剤などの化学的防染剤がある。

《英》resist printing《仏》teinture f à réserve《伊》resist printing (eng.)

補色【ほしょく】 色相の異なる2色を適当な割合に混ぜると黒色になる色同士を互いに補色の関係にあるという。　例：赤と青紫、黄と青など。

《英》complementary color《中》补色

ポンジー（織）【ぽんじーおり】 元来は柞蚕糸を使った粗い平織物。その感触に似せた斜子織の一種。婦人服、シャツ、パジャマ、家具地、裏地などに用いられる。淡い黄褐色で、独特の光沢がある粗硬な織物である。ポンジーの語源は、中国の山東地方の平織 (pingchih)、又は繭から糸を取るときに使う糸繰機の車 (pungche) だと言われる。

《英》pngee《中》柞绸（山东府绸）《仏》pongé m《伊》pongee(varieta' di seta cinese)

マイグレーション【まいぐれーしょん】 ①染料や化学加工剤などが繊維の内部のある部分から表面へ移動する現象。②糸に使われるマイグレーションの説明。

《英》migration《仏》migration f《伊》migration (eng.)

前処理【まえしょり】 染色や化学加工などを適正に行うために、あらかじめ糸や布に付着している油剤などを除去する準備工程。

《英》pretreatment《中》前処理

巻き取り(織布)【まきとり】 製織が進むにしたがって、織り布を巻取る動作。手機は、織り前の布が広くなって気づき、巻き取るが、力織機は、たて糸送り出しと連動して順次巻取る装置が附属している。

《英》take-up (of cloth)《中》卷取《仏》enroulement m

《伊》avvolgimento m (del tessuto)

摩擦堅牢度【まさつけんろうど】 染色物を他の繊維製品と摩擦した時の汚染の程度を1～5級で表す。摩擦堅牢度試験は、乾燥状態と湿潤状態の２種類の試験を行う。詳細はJIS L 0849を参照。

《英》fastness to rubbing《中》摩擦坚牢度《仏》solidité f au frottement

《伊》fastness to rubbing (eng.)

マルセルセッケン（絹練りセッケン）【まるせるせっけん】 生糸の精練に用いるセッケンをいう。

《英》marseilles soap《仏》savon m de Marseille《伊》sapone m di marseilles

真綿【まわた】 繭を重曹や灰汁で煮て、わた状に引きのばしたもの。主としてつむぎ糸の原料とする。

《英》floss silk《中》丝绵《仏》ouate f, bourre f de cocon《伊》spelaia, borra f

マングル【まんぐる】 繊維製品の加工工程において、染液などを絞り取るロール。金属製や合成ゴム製がある。

《英》mangle

耳【みみ】 ①平織りは、よこ糸が最端のたて糸と組織して耳をつくる。②斜子や繻子など、組織しない場合のは、別設計の縁耳。③飾り目的の耳。たとえば商品名や製造者名を入れた耳。

《英》selvage《中》布边《仏》lisière f《伊》cimossa f

みょうばん【みょうばん】 $AlK(SO_4)_2 \cdot 12H_2O$　硫酸アルミニウムと硫酸カリウムの複塩で、天然染料による染色においてアルミニウム媒染剤として用いられている。

《英》alum《中》明矾《仏》alun m《伊》allume m

ミリング染料【みりんぐせんりょう】 酸性染料の一種。均染型酸性染料に比べ分子量が大きく、スルホン酸基が少なくので溶解性が低い。また、均染型酸性染料に比べ均染性は悪いが洗濯堅牢度は高い。

《英》milling dyes《仏》colorant m de fraisage《伊》milling dye (eng.)

無彩色【むさいしょく】 白、灰色、黒などの色相のない色をいう。純粋な無彩色は各波長で分光反射率が同じであり、反射率が60％以上あれば白、60～10％くらいまでが灰色、10％以下で黒色に見える。

《英》achromatic color《仏》couleur f achromatique《伊》neutral color (eng.)

無地染め【むじぞめ】 被染物を均一な一色に染色すること。捺染や絞り染めなどの模様染めに対する語。

《英》solid dyeing《仏》teinture f monochromatique《伊》plain dyeing (eng.)

むら染め【むらぞめ】 ①→染めむら。②均一に染めるのではなく、意図的に染めむらを発生させる染色方法。

《英》unlevel dyeing《中》斑染《仏》teinture f irrégulière《伊》speckled dye (eng.)

斑直し【むらなおし】 染めむらや織りむら、さしなどを直すこと。染色補正。

《英》dubbing out

銘仙【めいせん】 MEISEN、つむぎ織よりも薄地の太織で、絣やプリント文様を施した。羽二重やちりめん、お召し類以外の先練り絹織物。

《英》course-silk fabrics for KIMONO《中》铭仙绸

《仏》taffetas m grossière teint en fils《伊》“meisenn”, coarse silk cloth (eng.)

目配り【めくばり】 繰返し、整経作業で糸を導くガイド。→糸道。

《英》thread guide《仏》guide m de fil

目付け（織）【めつけ】 絹織物の厚薄軽重を表わす用語、g／㎡。たとえば、羽二重の練上がり８目付（34.8g／㎡）以下を軽目、それを超えると中目、重目などという。ちなみに手織り太織着尺が、およそ100～130g／㎡である。→重目。

《英》metuke

《中》梅芝凯（织物衡量单位）《仏》unité f de poids de soie,1METUKE=4.356g/㎡

《伊》unita' f del tessuto (g/m2 etc.)

模紗織【もしゃおり】 紗織りに似た透かし目織物。織物組織の働きで、たて・よこ糸が集められ、透かし目ができた織物。

《英》Imitation Gauzes《仏》fausse gaze f《伊》mock leno weave (eng.)

もじり織【もじりおり】 もじり織物。紗や絽のように、同一筬目たて糸が左右に入れ替わってよこ糸と組織し、隙間をつくる織物。古代の工芸品「羅」に、今にして製法が不明のものがある。→紗織。

《中》纱罗组织《仏》gaze f《伊》leno weave (eng.)

諸より(撚り)糸【もろよりいと】 片撚り糸２本以上を引きそろえて、その反対方向の上撚りをかけた糸。3本諸、４本諸など。

《英》plied yarn or folded yarn《中》合股加捻《仏》organsin m, fil m double

《伊》fili m binati

紋織物【もんおりもの】 模様を織り出した織物、つづれ織りや錦など。

《英》figured fabric《中》提花织物《仏》tissu m façonné m《伊》figured fabric (eng.)

紋羽二重【もんはぶたえ】 文様を織り出した羽二重。

《英》fancy HABUTAE《中》花纺《仏》habutae façonné

《伊》crest-decorated habutae (eng.)

有彩色【ゆうさいしょく】 赤味、黄味などのいろどりを持つ色をいう。

《英》chromatic color《仏》couleur f chromatique《伊》colore m cromatco

友禅染【ゆうぜんぞめ】 京都や金沢で発達した模様染め法で、その方法も手描き友禅、型付友禅など多様。風景や花、鳥などを種々の色彩に染め、模様が優美で各種織物に応用されている。

《英》Yuzen process《中》友禅式印花《仏》teinture f “Yuzen”

《伊》stampatura f di “yuzen”

陽イオン活性剤【よういおんかっせいざい】 カチオン活性剤。水中でイオン解離したときに界面活性の有効部分がカチオンである陽イオン界面活性剤。

《英》cation suface active agent《中》阳离子活性剤

《仏》agent m d'activateur cationique《伊》cationic surface-active agents

用水【ようすい】 一般に染色用水は水道水と地下水や河川などの天然水が使われる。天然水は地域、季節によってＣａ及びＭｇイオンの硬度成分の組成が変動する。硬度が高い場合は、金属封鎖剤などを使用する。

《英》water《中》用水

浴比【よくひ】 被染物に対する処理液の重量比。浴比は処理条件、被染物の性状、使用する機械によって異なる。

《英》liqor ratio《中》浴比《仏》ratio m de bain《伊》bath ratio (eng.)

よこ糸入れ【よこいといれ】 開口したたて糸に、杼を飛ばしてよこ糸を通す運動。無杼織機は、①ヘラ（レピア）で糸を挿し入れる、②水や空気の噴流によこ糸を載せて通すジェット、などの方式がある。

《英》picking《中》引纬纱《仏》coup m, insertion f de trame

《伊》inserimento m della trama

よこ打ち【よこうち】→筬打ち。

《英》beating《中》打纬《仏》battage m《伊》battuta f

より掛（かけ）【よりかけ】ケンネル式。繰糸工程で生糸の抱合と脱水を図るため、走行中の糸条を他の部分の糸条とよりあわせる操作。

《英》italian reeling cross《中》做鞘、捻鞘《仏》filature f à tavelle, à la l'italienne,

《伊》filatura alla tavella

より縮み【よりちぢみ】撚糸前の糸の長さと撚糸後の糸の長さの差。

《英》twist shrinkage《中》捻缩率

より付け【よりつけ】繰糸中に切断した生糸の両端をより合わせて繋ぐ方法。

《英》yori-tsuke《中》捻添

より付け節【よりつけぶし】生糸の大節の一種で、より付け又は束付けによって急に糸条が太くなっているもの。

《英》bad cast《中》粘附糙《仏》mal attache bave, mal jetté

《伊》nodi m causata da attaccatura male

羅【ら】〔別名〕うす絹。もじり織の一種。神官の帽子の生地。→もじり織。

《英》RA ,hight-graid fancy gauze in Japanese《中》罗《仏》gaze f complexe

《伊》fancy gauze (eng.)

ラウジネス【らうじねす】フィブロイン繊維を構成するフィブリル（微細繊維）の一部がフィブロイン繊維から分離してネップ状又はパイル状になったもの。これが原因で光沢に異常を来すことをラウジネス欠点という。

《英》lousiness(-fibre), (exfoliation)《中》微茸，茸毛《仏》flocon m

《伊》sfibrillament, fiocchetti m lousiness

ラウンダオメータ【らうんだおめーた】洗濯堅牢度試験機の名称で、洗濯による染色物の変退色及び洗物への汚染（移染など）の程度を調べる。試験方法はJIS L 0844を参照。

《英》launder-ometer《仏》machine f pour tester la solidité de couleur au lavage

《伊》laundrymeter (tester per lavaggio, ex.registenza a tessuti etc.)

ラピッド染色【らぴっどせんしょく】昇温を短縮するか省略して沸点で1時間などの定温・短時間で染色する方法。時間と労力の削減と均染効果が得られるが、染料と緩染剤の選択や染色開始温度の設定などに制約がある。

《英》rapid dyeing

リード（筬＝おさ）【りーど】筬（おさ）。

《英》reed《中》筘《仏》peigne m《伊》pettine m

力織機【りきしょっき】有杼動力織機。

《英》power loom《仏》métier m mécanique m《伊》telaio m meccanico

硫化染料【りゅうかせんりょう】硫化染料は、硫化ソーダで還元して水に可溶なロイコ化合物（R－S Na）とし、繊維に吸着させ、繊維上で空気酸化して元の不溶性染料に戻す染法で染色する。一般に堅牢度は高いが、摩擦に弱い。

《英》sulfur dyes《中》硫化染料《仏》colorant m de sulfure《伊》sulphur dyes (eng.)

粒付数【りゅうづけすう】一本の生糸を構成するために繰糸されている繭の数。

《英》rose of reeling cocoons

《中》绪下茧粒数、定粒数《仏》nombre m de cocons au dévidage

《伊》numero bozzoli per una rosa f del capo filatura

両性イオン活性剤【りょうせいいおんかっせいざい】一つの分子がアニオン性基、カチオン性基の両方を持ち、その水溶液は等電点で非イオン、酸性でカチオン、アルカリ性でアニオン活性を示す界面活性剤をいう。

《英》ampholytic surface active agent《伊》amphionic surface active agent (eng.)

リンシャン（織）【りんしゃんおり】たて糸とよこ糸ともに玉糸を使用した織物。→シャンタン。

《英》linshang《中》双宫竹节绸《仏》soie f tissée avec douppion

綸子【りんず】朱子組織の表裏を使って、文様を織り出した後練強撚糸織物。→緞子。

《英》satin figured crepe《中》花缎《仏》damas m satin teint en-piece

《伊》“rinzu”(satin check habutae)

レベリング染料【れべりんぐせんりょう】一般には均染性酸性染料のことで、構造的に - S O3H 基を有するアゾ系、アントラキノン系及びトリフェニルメタン系などの酸性染料。均染性であるため反染めに欠かせないが、湿潤堅牢度に難がある。

《英》levelling dyes《中》染料《仏》colorant m de nivellement

《伊》levelling agent (eng.)

絽【ろ】捩り織物のなかで、紗組織と平組織を組合せた透かし目のある織物。

《英》fancy gauze《中》罗织物《仏》gaze arumurée , gaze de soie《伊》garza f di seta

ろうけつ染め【ろうけつぞめ】溶かしたロウで模様を描き、防染する手工捺染法の一種。通常、ロウの融点が55℃前後なので、低温染色が望ましい。

《英》batik dyeing《中》蜡染《仏》teinture f à la cire, batik《伊》batik dyeing (eng.)

ローラー捺染【ろーらーなせん】捺染模様を主として凹型に彫刻したロールを使

って印捺するナセン法。

《英》roller printing《中》辊式印花《仏》impression f au rouleau

《伊》roller printing (eng.)

若練り【わかねり】 精練後、セリシンや他の不純物が残っている状態。→歩練り。

《英》premature degamming